

3. 親水性の向上に向けて

λ 人々が快適に海に触れ合える場を再生する

λ 臨海部での人々の憩いの場を確保する

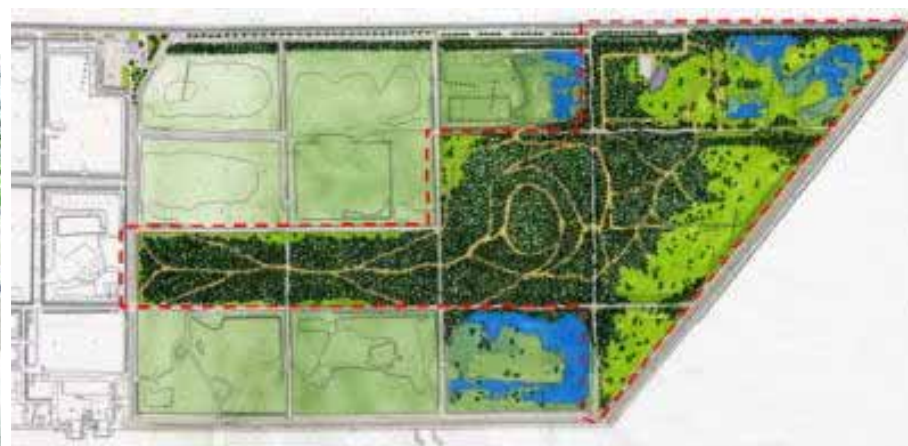
快適な海辺空間の充実を目指し、臨海部における親水性の高い公園緑地を整備します

H16年度

「尼崎21世紀の森」の整備、堺第7-3区における「共生の森」整備に向けた調査・設計の実施



「尼崎21世紀の森」
(イメージ)



堺第7-3区「共生の森」
(イメージ)

人と海とが豊かに触れ合う機会を提供します

H16年度

「なぎさ海道ウォーク」、「阪神なぎさ回廊ウォーク」の実施 コンブ養殖オーナー体験の実施 都市ウォーターフロント活性化の実施

なぎさ海道ウォーク 参加17,641人(36回実施)、阪神なぎさ回廊ウォーク 参加329人(1回)



コンブ養殖オーナー体験(岬町谷川地先)



都市ウォーターフロント活性化(メリケンパーク)



4 . 浮遊・漂着・海底ごみの削減

λごみのない美しい海岸線・海域を
確保する

河川などを通じて大阪湾に流入するごみを削減するため、河川清掃活動を推進します

H16年度

「3000万人瀬戸内海クリーン大作戦」、「淀川わんどクリーン大作戦」、「猪名川クリーン作戦」、「大和川再生クリーンキャンペーン」等、河川流域及び沿岸の美化に係る取り組みを連携し実施



淀川わんどクリーン大作戦



猪名川クリーン大作戦

ごみのない美しい大阪湾を実現するため、ごみの発生防止と回収強化を行います

H16年度

「大阪湾クリーン作戦」、「リフレッシュ瀬戸内」の実施、
海洋環境整備船によるごみ等の回収、底びき漁船による
海底ごみの除去(合計約2,400tのごみ回収)
底びき漁船による海底ごみの除去



大阪湾クリーン作戦

大阪湾クリーン作戦



海洋環境整備船による浮遊ごみの回収

海洋環境整備船による
浮遊ごみの回収

5 . 大阪湾再生のためのモニタリング

大阪湾の環境を監視するためのモニタリング
施策の効果を検証するためのモニタリング

汚濁メカニズムを解明するためのモニタリング

大阪湾の環境に関する情報共有化と発信

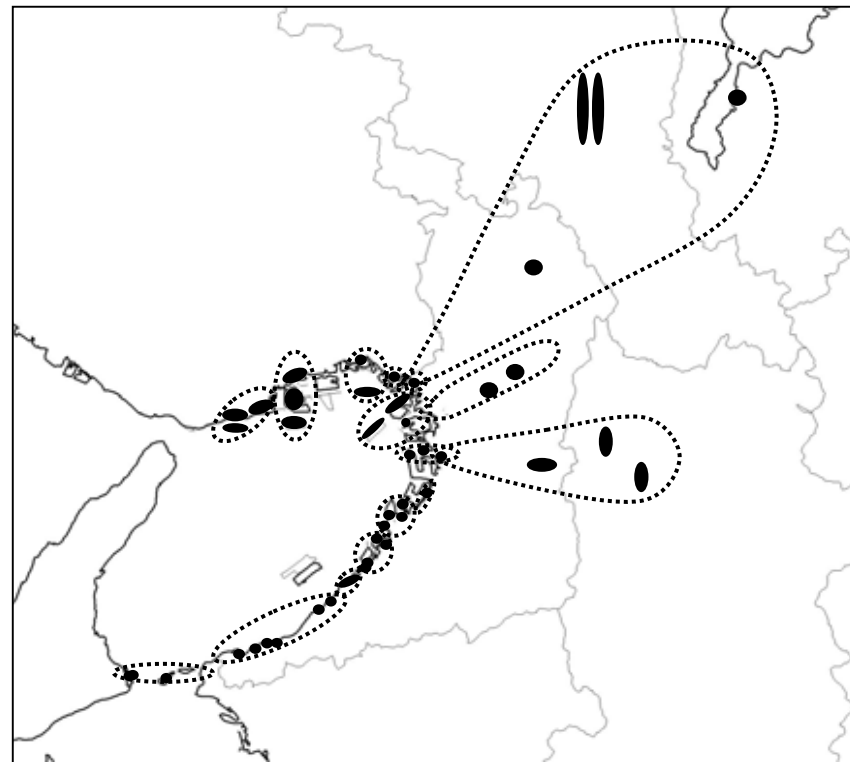
大阪湾の環境を監視するためのモニタリング 施策の効果を検証するためのモニタリング

H16年度

λ 大阪湾再生水質一斉調査「海域160点、河川250点」

λ 大阪湾再生行動計画の全
ての アピールポイントにお
いて、モニタリング方法、調
査主体を確認。

今後10年間のモニタリング
の基礎となるもの。



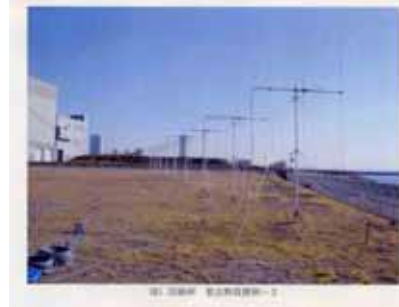
汚濁メカニズムを解明するためのモニタリング

H16年度

λ 北部港湾海域の流動・底質調査を実施



λ 湾奥部の水質汚濁域の形成機構や
浮遊ゴミの流出機構の把握のための
DBFレーダの有効性を検証



大阪湾再生のためのモニタリングの情報・データを一元的に集約・発信することにより、情報を広く有効に活用します

H16年度

大阪湾内で実施されているモニタリング結果を集約した大阪湾環境データベースホームページを平成16年4月より一般公開、データ検索システム(クリアリングハウス)の構築を検討中



大阪湾環境データベースホームページ
(<http://kouwan.pa.kkr.mlit.go.jp/kankyo-db/>)



大阪湾再生行動計画で実施する場の整備の数量(参考)

H17.3時点

▽ 干潟・浅場などの整備

計画:干潟・浅場 約16ha(約3ha今年度に具体化)

藻場約13ha(今年度に具体化)

実績:藻場約7ha(今年度に造成)

▽ 自然的な海岸線(親水護岸を含む)の整備

計画:約12km(約2km今年度に具体化)

実績:約6km(今年度に整備)

▽ 臨海部の海に面した緑地整備

計画:約180ha(約90ha今年度に具体化)

実績:約3ha(今年度に整備)

市民及び行政でのごみの回収数量(参考)

H17.3時点

▽ ごみのない美しい海岸線・海域の確保

H16年度実績:約2,400tのごみを回収

(2tトラック約1,200台分)

内訳:[市民などが回収]

河川・海岸・海域などで市民や漁業者などが約1,400tのごみを回収

[行政が回収]

海洋環境整備船により、約1,000tのごみを回収

大阪湾再生の推進体制づくり

大阪湾再生の推進体制づくり

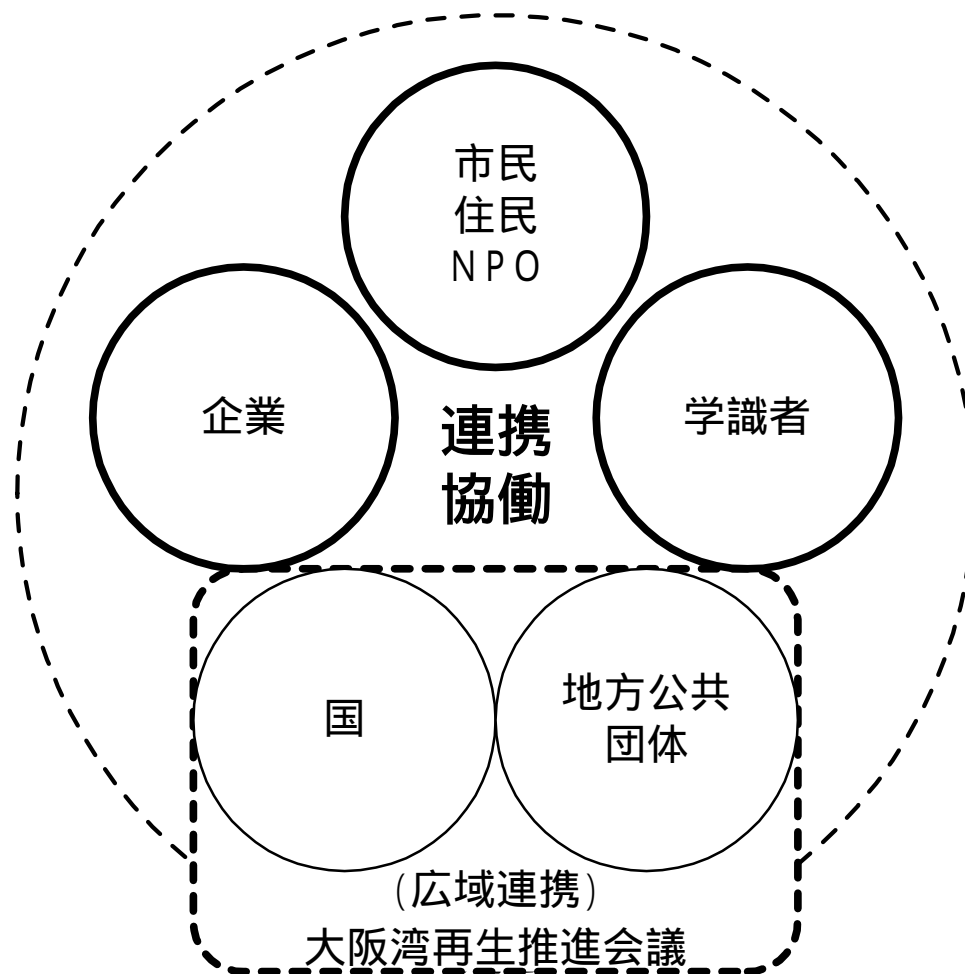
市民・住民・NPO、学識者、企業との連携と

協働による推進体制づくり

大阪湾再生の推進体制づくり

大阪湾再生行動計画

～ 森・川・海のネットワークを通じて、
美しく親しみやすい豊かな「魚庭(なにわ)の海」を回復し、
京阪神都市圏として市民が誇りうる「大阪湾」を創出する～



市民・住民・NPO、学識者、企業との 連携と協働による推進体制づくり

- v 市民・住民・NPOとのネットワーク形成に向けて
 - 各種社会実験での協働の取り組み
 - 森・川・海を通じて「魚庭(なにわ)の海」を取り戻す活動を行っている方々との市民フォーラム開催
 - 大阪湾の沿岸域で活動する市民組織・関係団体が一同に会するフォーラム開催(「大阪湾見守りネットワーク」)
- v 学識者、企業も含めた推進体制づくりに向けて
 - 学識者との各種検討会の開催など
 - 大阪湾再生一斉水質調査での学識者、企業等との連携
 - 大阪湾海域環境情報の集約・共有化と多様な主体の連携(産官学、市民相互の連携のための体制整備を検討中)

市民・住民・NPOとのネットワーク形成に向けて

• 各種社会実験での協働の取り組み

NPO大阪湾研究センター、NPO環境教育技術振興会(ボランティアダイバー)、大阪 コミュニケーションアート専門学校、NPOアマモ種子バンク、浜寺小学校、浜寺昭和小学校、浜寺校区自治会など

• 森・川・海を通じて「魚庭(なにわ)の海」を取り戻すための活動を行っている方々との市民フォーラム等の開催

市民と学識者、NPO環境教育技術振興会などと「大阪湾再生市民フォーラム」を開催(H17.3.19)。川や海で活動する児童・生徒などともネットワークづくりを進める。

大阪湾や河川等で活動しているNPOや学識者などと大阪湾の現状をみてもらう視察会を開催(H16.5.6)。

• 大阪湾の沿岸域で活動する市民組織・関係団体が一同に会するフォーラム開催(「大阪湾見守りネットワーク」)

関係する45もの団体が参加し、情報の交流と連携を図るフォーラムを開催(H17.2.26)。市民と協働の環境モニタリングネットワークの構築を進める。

森・川・海を通じて「魚庭(なにわ)の海」を取り戻すための活動を行っている方々との市民フォーラム等の開催

H16年度

大阪湾再生市民フォーラム ～ 足元(地域)から見る10年先の大阪湾～ (H17.3.19)。参加者120名

「なぎさ海道」フィールドワーク 近木川～二色の浜：海中映像見学、森・川・海での活動報告など。



大阪湾の沿岸域で活動する市民組織・関係団体が一同に会するフォーラム開催(「大阪湾見守りネットワーク」)

H16年度

情報の交流と連携を図り、市民参加型環境モニタリングネットワークの構築を目指す。

いほっといたらあかん
やん！大阪湾フォー
ラム

～つなげよう！わたしたちの「大阪湾見守りネットワーク」～

参加者160人、
参加45団体。

H17.2.26開催



海の環境学習ハンドブック(子ども編)の作成

H16年度

λ市民にわかりやすい 指標(生物)などを用いたモニタリングの手引きとして活用

λNPO大阪湾研究センターの専門家や学識者、小学6年生などが協働で、子供が読んでわかりやすい環境学習ハンドブックを作成

